

2024年8月18日

2025年度 大学院経営管理研究科

経営管理専攻 修士課程

入学試験（経営分析プログラム）

【小論文試験問題】

以下の文章は、ジェフリー・フェファー、ロバート・サットン著『事実に基づいた経営：なぜ「当たり前」ができないのか？』から抜粋したものである（抜粋に際して、小見出しや注記および一部の文章を省略、改変している）。

この文章を読んで、以下の全ての問いに答えなさい。なお、解答にあたっては、全て日本語で書くこと。

- (1) 下線部 (A) について、こうしたデータの集め方は因果関係を確認する上でなぜ問題になるのか。ここで『ウォー・フォー・タレント』の著者らがどのような因果関係を想定しているのかを指摘した上で、それを確かめるにあたってこのようなデータの集め方がどのような問題を抱えているのかを 150 字以内で述べなさい。
- (2) 下線部 (B) について、成功企業だけを取り上げ、失敗企業がどのようにしていたのかが考慮されない場合、研究結果はどのように「ねじ曲がって」しまう可能性があるのかを本文の内容に沿って 200 字以内で述べなさい。
- (3) 下線部 (C) について、ダブルブラインド・プラセボ対照実験とはどのようにして因果関係を確かめる手法であるのかを 200 字以内で述べなさい。なお、解答にあたって、「ダブルブラインド・プラセボ対照実験」は「DBPC」（4 字）と略して記述しなさい。
- (4) 下線部 (D) について、実際には「礼儀正しさ」と「店の売上」との間にどのような関係があったのかを説明した上で、両者の間になぜそのような関係が生じていたのかについて筆者がどのように論じていたのかを 200 字以内で説明しなさい。
- (5) 下線部 (E) について、このような調査結果の根拠にはどのような問題があるのかを本文の内容に沿って 200 字以内で説明しなさい。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

出典：ジェフリー・フェファー、ロバート・サットン著『事実に基づいた経営：なぜ「当たり前」ができないのか？』東洋経済新報社, 2009 年, pp.49-54, 68-69.